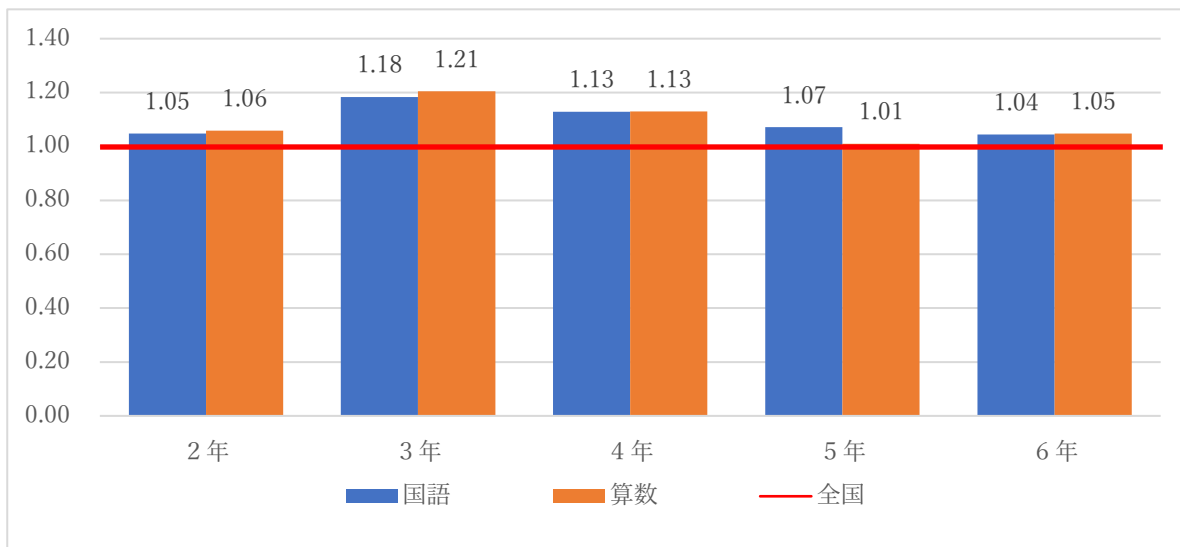


## 令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第一中学校区 中央小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	領域「読むこと」については、4学年の平均で全国平均を約9ポイント上回った。引き続き、校内研究で取り組む主体的に考える授業づくりの充実を図っていく。
	算数	観点「思考・判断・表現」において、4学年の平均で全国平均を12ポイント上回った。引き続き、中学校区でも取り組んでいる「考える力・伝える力」の育成を意識した授業計画に力を入れていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」設問が全国平均を10.5ポイント上回った。引き続き、提示された情報を整理しながら自分の考えをまとめる活動を設定していく。
	算数	「( )を用いた式や、加法と乗法の混同した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる」設問が全国平均を11ポイント上回った。解を求めるために必要な情報を読み取る力はあるので、それを記述説明できる学習活動を強化していく。
	質問紙	「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っているか」を問う質問に肯定的回答をした児童が全国平均を6.1ポイント上回り、昨年度下回っていた状況が改善した。今後も授業や学校行事を通して、自主的な学習活動の機会を増やしていく。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。「ノート指導」「表現活動」を中心とした「書く力」の育成にも努めている。

### 【学校】

校内研推部を中心とした「主体的な学び」を育む授業改善の取組。読書週間や読書通帳を活用した読書活動の推進。教職員による自主的なOJT研修の実施。「ノート大賞」の掲示。